

令和7年度 第3学年 理科 年間指導計画・評価計画

		評 価 の 観 点	評 価 材						
観点 1		知識・技能	定期考査、google form等						
観点 2		思考・判断・表現	定期考査、google form,spredseet等						
観点 3		主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ノート、課題、提出物、google form等						
週 4 時間（一斉授業）		（授業者：大野 浩史）							
期 月	学 習 単 元	内 容	観 点	評 価 時 期					
1	4 月	単元 1. 化学変化とイオン 第 1 章 水溶液とイオン (1)水溶液と電流 (2)電解水溶液の中で起こる変化 (3)イオンと原子のなり立ち	・電流を流す水溶液 ・水溶液を流れる電流の正体と電気分解 ・原子のつくり ・イオンのでき方 ・電解質水溶液に電流が流れるしくみ	○	○	○	7 月		
		第 2 章 酸・アルカリとイオン (1)酸性やアルカリ性の水溶液の性質 (2)酸性、アルカリ性の正体 (3)酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化	・水溶液の性質と指示薬 ・酸とアルカリの性質と特徴、度合 ・中和反応 ・濃度と中和に必要な体積の関係	○	○	○		7 月	
		第 3 章 化学変化と電池 (1)金属のイオンへのなりやすさの違いと電池 (2)電解質の水溶液の中の金属板と電流 (3)ダニエル電池 (4)身のまわりの電池	・電解質水溶液と金属の反応 ・酸と金属の反応 ・ボルタ電池 ・ダニエル電池 ・一次電池と二次電池	○	○	○			7 月
	5 月	単元 2. 生命の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖 (1)生物の成長と細胞の変化 (2)無性生殖 (3)有性生殖	・体細胞分裂と減数分裂 ・単細胞生物と多細胞生物の無性生殖 ・動物の有性生殖と被子植物の有性生殖	○	○	○	12 月		
		第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子 (1)遺伝の規則性 (2)遺伝子の本体	・メンデルの遺伝の法則 ・DNA	○	○	○		12 月	
		第 3 章 生物の多様性と進化 (1)生物の歴史 (2)水中から陸上へ (3)様々な進化の証拠	・脊椎動物の進化 ・相同器官	○	○	○			12 月
	6 月	単元 5. 地球と私たちの未来のために 第 1 章 自然のなかの生物 (1)生物どうしのつりあい (2)土中の生物のはたらき (3)自然界の物質循環と地球の温暖化	・生物界の生産と消費 ・食物連鎖 ・土中の小動物と分解者 ・自然界の炭素・窒素循環	○	○	○	12 月		
		7 月	単元 3. 運動とエネルギー 第 1 章 力のはたらき方 (1)力のはたらきと表し方 (2)力の合成と分解 (3)水中ではたらく力	・1年生の復習 ・合力と分力、作用と反作用の法則 ・3力のつり合い ・斜面上の物体にはたらく力 ・浮力作用・	○	○		○	
			第 2 章 物体の運動 (1)物体の運動と記録 (2)速さが変化しない運動 (2)速さが変化する運動	・平均の速さ、瞬間の速さ ・等速直線運動 ・等加速度運動と自由落下	○	○		○	12 月
	8 月		第 3 章 エネルギーと仕事 (1)仕事 (2)力学的エネルギー (3)エネルギーの変換と保存 (4)エネルギー資源の利用と課題	・仕事の求め方、仕事の原理、仕事率 ・位置エネルギーと運動エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則 ・エネルギーの移り変わりと熱の伝わり方 ・エネルギー消費、電気エネルギーのつくり方	○	○	○	12 月	
		9 月	単元 4. 地球と宇宙 第 1 章 地球の運動と天体の動き (1)太陽・月・地球 (2)太陽の 1 日の動き (3)星の 1 日の動き (4)天体の一年の動き (5)地軸の傾きと季節の変化	・天体の分類 ・地球の自転と太陽日周運動 ・星座と日周運動、緯度と北極星の高度 ・地球上の方位と時刻 ・星座の年周運動 ・地軸の傾きと季節の変化	○	○	○		
			10 月	第 2 章 月と金星の見え方 (1)月の満ち欠け (2)日食と月食 (3)惑星の見え方)	・月の満ち欠け ・日食と月食 ・金星の満ち欠け	○	○		○
11 月	第 3 章 宇宙の広がり (1)太陽系の天体 (2)宇宙の広がり			・太陽系の惑星の特徴 ・銀河系と宇宙の広がり	○	○	○	3 月	
	12 月	入試問題演習							
		1 月	単元 5. 地球と私たちの未来のために 第 2 章 自然環境の調査と保全 (1)身近な自然環境の調査 (1)人間による活動と自然環境 (2)自然環境の開発と保全						
2 月			第 3 章 科学技術と人間 ・自然災害とめぐみ	・自然災害と自然の恵み					
	3 月								

家庭での学習方法・学習のアドバイス

3年生の理科は、家庭学習で3年生の授業内容と1・2年生の学習内容の復習の両方を平行してやっていく必要があります。授業で扱う内容は、高度になってきます。考査前の学習だけでは追いつきません。授業中は、ノートを書くだけの受け身の学習態度ではなく、よく聞き、常に考えて下さい。家庭での復習は1・2年の内容を問題集で取り組みます。わからないことは、質問に行く習慣をつけてください。結果が出るのは学習を始めて3ヶ月後です。